

ILSI Japan 食品微生物研究部会 2017 公開シンポジウム ～ HACCP を支える微生物検査とその最新技術 ～

食品衛生管理の国際標準である HACCP は、安全性の高い食品の生産性の向上を目的としており、我が国においては制度化が進められております。この HACCP は安全で衛生的な食品を製造するための管理方法のひとつで、食中毒菌の汚染など問題のある製品の出荷を未然に防ぐことを目的としたシステムです。

本シンポジウムでは、HACCP の運用における微生物検査の重要性の解説と実際、更に最新技術を用いた微生物検知などの安全性の向上に繋がる技術について議論し理解を深めて参ります。

日時 2017 年 12 月 15 日(金) 10:30-17:10
会場 東京大学弥生講堂一条ホール <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>
参加登録 事前申込のみ (<http://www.ilsijapan.org/> HP から事前申込をしてください)
参加費 一般 5,000 円、学生 1,000 円 (消費税込み、当日お支払いください)
定員 250 名 (先着)
主催 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 食品微生物研究部会 (ILSI Japan)

スケジュール

10:00- 受付け開始・開場
10:30-10:40 開会の挨拶・ILSI の説明 ILSI Japan 食品微生物研究部会長 宮下隆
10:40-11:50 座長 (株)ニチレイ 島原義臣
講演 1 HACCP を支える微生物検査の役割
東海大学海洋学部水産学科客員教授 荒木恵美子先生
11:50-13:00 休憩 (70 分)
13:00-13:50 座長 雪印メグミルク(株) 石井哲
講演 2 食品における微生物検査の迅速化技術と活用
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 川崎晋先生
13:50-14:40 座長 (株)明治 高橋尚美
講演 3 HACCP 制度化に伴う食品工場の衛生管理と迅速検査について
一般財団法人食品産業センター 柳平修一先生
14:40-15:10 コーヒーブレイク (30 分)
15:10-16:00 座長 サントリー-MONOZUKURI エキスパート(株) 戸上敬子
講演 4 有害微生物と有害遺伝子の迅速検出
～MALDI-TOF MS 微生物同定最新情報と有害遺伝子検出データベースの提供～
独立行政法人製品評価技術基盤機構 川崎浩子先生
16:00-17:10 座長 不二製油(株) 片瀬満
講演 5 食品の微生物学的安全性および品質確保へ向けた
次世代 DNA シークエンサーの活用について
東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門教授 木村凡先生
17:10 終りの挨拶

問合せ先 ILSI Japan 事務局 (杉崎) TEL : 03-5215-3535、 E-mail : ysugisaki@ilsijapan.org